

■チリ：電力供給入札、7月に延期

チリ国家エネルギー委員会（CNE）は2016年3月17日、一般需要家を主に対象とした規制市場での電力供給入札の募集の期限を当初予定していた4月から7月に延期すると発表した。入札対象の電力量は年間137億5,000万kWhで、国内の電力供給入札としては最大規模となる。落札した発電会社と配電会社は20年間の供給契約を締結する。延期の理由について、国会で審議中の送電線関連法案の通過を待ったためと言及したPachecoエネルギー大臣の発言が報じられている。チリ送配電事業協会（Empresas Eléctricas A.G）のCastillo会長は、海外の事業者や投資家にとって、送電容量が大きな関心事項であると述べている。